



2016.2月
松ヶ本認定こども園
保健室

2月は一年で最も寒い季節ですが、2月4日は『立春』で、この日が春の始まりの日とされています。その前の3日が、『節分』で、『冬と春』の二つの季節の『わけ目(節目)』を意味しています。まだまだ、寒い日が続きますが、これからは、少しずつ陽(ひ)が長くなり、一步步春に近づいていきます。今年度は、1月半ばから寒波が到来し、近隣の学校では、インフルエンザによる学級閉鎖もありました。気温の低下とともに、インフルエンザの罹患(りかん)率が上がると言われています。松ヶ本の子もたちは、この寒さを跳ね飛ばすかの勢いで、園庭を元気に走り回っています。『松ヶ本パワー』で『鬼は外』・『インフルエンザ外』と冬の感染症を追い出しましょう。

脳にうれしい絵本の読みかせ

絵本の読み聞かせをしてもらうと、子どもの頭の中では、特に『うれしい』『かなしい』といった感情をつかさどる『心の脳』とも呼ばれる『大脳辺縁系』という部分が活発に働いていると言われており、心を育てるのに一役かっています。



おうちの方に絵本を読んでもらうということが、子どもにとってなによりの特別。ぜひ夜寝る前の時間など、読みかせをしてあげてください。



幼保連携型認定こども園におけるインフルエンザ対応について

今年度も、インフルエンザの流行期を迎えました。ハンドブック等でご説明させていただきましたが、認定こども園は、インフルエンザ対応におきましても『学校保健安全法』の規定に基づき対応させていただくこととなります。『内閣府』より『認定こども園におけるインフルエンザ対応について』『集団感染の予防とまん延の防止』のため、『インフルエンザの予防上必要がある時は、臨時に学級閉鎖や休業が出来る』と連絡がありました。認定こども園は、保育の必要性のある子どもを受け入れている児童福祉施設であることから、各機関とも相談の上できる限りこのような事態を回避したいと思っております。保護者の方々にも学級閉鎖もありうることをご理解いただき、疑いのある場合の無理な登園は避けるようご協力をお願いします。

インフルエンザ予防の5か条

- 一、予防接種
発病の可能性を低下させ、重症化を防ぐ効果があります。
- 二、外出後の手洗い
せっけんと流水で、指や爪の間まで、ていねいに。
- 三、湿度を50~60%にキープ
湿度が低いと、鼻やのどの粘膜の働きが低下し、感染しやすくなります。
- 四、休養と栄養
抵抗力を高めるために必須です。
- 五、人ごみを避ける
混み合った電車やバスなどに乗るときには、マスクをつけましょう。

寒〜い季節 楽しく過ごすために

外遊び 天気の良い日は、外に出て、体をいっぱい動かしましょう!!

寒い時期は、暖かい室内に閉じこもりがちですが、室内ばかりで過ごしていると、子どもも大人もストレスがたまってしまいます。日中に思いきり体を動かすことで、食も進み、夜もぐっすり眠れるようになります。

室内遊び けが予防のため、遊ぶスペースには、なるべく物を置かないようにしましょう。

室内で遊ぶときは、壁や家具などにぶつかってけがをしないように気を配りましょう。すべり止めのない靴下で走り回るのも危険! タンスの引き出しにぶら下がって下敷きになる事故も起きています。じゅうぶんに注意を。

2月保健行事予定

- 5日(金) 身体計測(0.1歳児)
- 8日(月) 身体計測(2~5歳児)



季節を感じる **はつと** タイム

光の春 風はまだまだ冷たいのですが、少しずつ日が長くなり、日ざしが明るくなって、春が確実に近づいているを感じます。「光の春」は、こんな時期をうまく表現した季語。ロシアの言葉が語源だそうです。